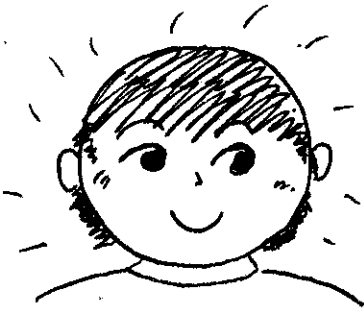


朝会の話

～ 自分で考え 共に行動しよう! ～



令和6年4月15日

校長 井口 修

すばらしいです!

やるべきことを自分で考え、自分たちで声を掛け合って整列し、話を聞こうと自分たちで静かになりましたね。

私はとてもうれしいです。

金曜日に〇〇先生から教わった、「目で前、ならえ」もしっかりできていましたよ。

今日は、「自分で考え 共に行動しよう!」という話をします。

先ほど私は「とてもうれしいです。」と言いました。なぜかという朝会が始まる前、やるべきことを自分で考え、自分たちで声をかけ合って整列し、自分たちで静かになったからです。

大人から「ああしなさい」「こうしなさい」と言ってもらえるのは、小学生までです。中学生になると、自分たちのことは、自分たちで考え、自分たちで解決しなくてはなりません。小学校はその練習の場です。

ですから、八小の皆さんには、「自分で考え 共に行動できる人」になってほしいです。

自分で考えた後は、自分勝手ではいけませんよ。友達に声をかけ、話し合い、友達と共に何かをつくっていくことが大切です。だから、「共に行動しよう!」なのです。

それには、自分と違う考えや、違うタイプの人も大切にできる力が必要です。その力を、友達と関わる中で、しっかり身に付けてください。

そして、八小の「全員」が、いいですか、子どもも大人も、おうちの人も地域の人も含めた、「八小の全員が笑顔になれるクラス、学校、地域」をみんなで作っていきましょう。そのために、どうしたらよいかは、みんなが自分で考えてください。

それでは皆さん、「自分で考え 共に行動すること」がんばってくださいね。

まずはこの後、朝会でどうしたらよいか、自分で考えながら行動してください。

これで、朝会の話が終わります。

※裏面に【教職員の皆様へ】があります。

【教職員の皆様へ】

今回の話の中で、

「**自分で考え**」には、

大人に言われたことだけを行うのではなく、自分で考え、自分（たち）で決めたことを、自分（たち）の力で進める力をつけてほしい。あきらめず何とか工夫し、よりよいものを生み出した時の喜び、自分たちで考えたことが実現できた時の喜びを感じてほしい、という願いを込めました。

「**共に行動しよう！**」には、

共に関わることで、人は様々な考え、様々な生き方に触れる。その中で、自分とは違う考えや多様性を受け入れる感覚を身につけてほしい。力を合わせ、新しいことを共に生み出す喜び、人と関わることで成長できた喜びを感じてほしい、という願いを込めました。

「**笑顔**」には、

何かの縁で一緒になった人、すべての人が安心できているか、自分らしさを出せているか、常に気にかけてほしい。皆が自分にできることは何か考え、行動し、子どもも大人も、すべての人が笑顔になれる学校をつくりたい、という願いを込めました。

そして、「自分で考え 共に行動する」経験を通して、子どもたちに

「**自分の夢は自分でかなえていくのだ、という意志**」 = 「**生きる力**」

を育んでいきましょう！

皆さんに具体的にお願いしたいことは

「**児童発案の活動**」です。

※自己申告の中にも、どこかに記述してくださいね

低学年は、9割以上大人の指導が必要です。でも、子どもたちには、「君たちの力で実現できたね」と意味づけしてください。

中～高学年では、集団の実態に合わせて、できるだけ子どもたちに任せる割合を増やしていきましょう。

大人に言われたことだけをやるのではなく、自分たちで考え、自分たちで課題を見つけ、仲間

と共に力を合わせてやりたいこと（**=身近な夢**）を実現していく、たくましい子どもを

皆で育てましょう！